

伝えるためには、児童自身が調べたことを十分理解した上で、自分の言葉で伝えなければならぬ。これにより、児童一人一人が真剣に調べ、よく考えてまとめ、分かりやすく伝えるという一連の学習に自主的に取り組んでくれることを期待している。なお、調べる・まとめる・伝えるという活動は、原則的に地区別のグループで協力しながら進めるようにする。その中で、自分が暮らす地区のよさを考えること、そこに住む人々と積極的にかかわることを重視したい。今回、地域のよさを伝えるという学習を通して、自分の住む地域に愛着を持つというねらいとあわせて、友達と協力してよりよく生きる態度を養うことができると考えている。そのため、一人ではなかなかにできない活動（広範囲にわたる現地調査など）を意図的に設定したり、学習を振り返る際に、友達とのかかわり方について、自己評価あるいは相互評価を行う機会を計画的に設けたりしていきたい。

3 単元の目標
地域のもの・こと・人について調べ、それを地域の自慢として下級生に伝える活動を通して、より深く地域とかかわり、地域に愛着をもつ。

4 単元の評価規準
関心・意欲・態度
自分の住む地区のよいところを自分の言葉で伝えようとする。
友達と協力して学習を進めようとする。
一ノ宮の地域に愛着をもつ。
思考・判断
目当てをはっきりさせて、学習を進めることができる。
一ノ宮の地域のよさについて考えることができる。
下級生に分かりやすいまとめ方、伝え方を考えることができる。
技能・表現（基礎的・基本的な技能）
下級生に分かりやすく、絵や図を利用してまとめることができる。
下級生に分かりやすい声の大きさ、話す速さで伝えることができる。
知識・理解（基礎的・基本的な知識）
自分の地区の特徴が分かる。

5 学習過程と評価計画

時間	学習活動	支援 (方法・内容)	評価規準				評価資料
			関心意欲態度	思考判断	技能表現	知識理解	
	1 自分の地区の自慢を見直す。(3時間)						
1	1学期や夏休み中に調べた自分の地区の自慢を発表しあう。	・一ノ宮カルタを中心に、調べたことをカードにまとめ発表しあう。					発表評価カード
1	調べたことが本当に自慢できることなのか、見直してみる。	・もの・こと・人という視点を与え、偏りなく調べられているか見直すようにする。					振り返りカード1
1	もの・こと・人について、自慢できるものかどうか判断する。	・人について心当たりがないというグループには、その地域の行事や施設に携わっている人に着目するよう助言する。					振り返りカード2
	2 自分たちの地区の自慢の再調査、精選を行う。(11時間)						
1	足りないものについて、再調査する計画を詳しく立てる。	・事前に情報を集めてから現地に行くよう助言する。					予定表
4	地域に出て調べ直す。	・どんな情報を集めるのか、あらかじめ考える。					調査カード

		・交通安全第一で時間的に余裕をもって調べられるよう注意する。					
1	再調査したものを含め、発表する地域の自慢を決める。	・下級生にそのよさがわかるかどうか、考えてみるよう助言する。 ・グループ全員が納得して選ぶことが大切であることを知らせる。					自慢カード
4	再調査・精選したものをまとめ、5年生に発表する。	・1年生に伝えるときと同じ内容、同じ方法で行うようにする。 ・5年生には発表後に内容や方法に関するアンケートをとり、今後の準備や練習に役立てるようにする。					5年生発表振り返りカード
1	5年生への発表をもとに自分たちの地域の自慢を最終決定する。	・地域の特徴的なもので、なおかつ、1年生にも分かるものを選ぶようにする。					本発表計画書
3	3地域のよさを伝える準備をする。(10時間) 決定した自慢を下級生に伝えるにはどうすればよいか話し合う。	・5年生の意見を参考にするようにする。					本発表計画書
5	話し合って決定した伝え方に沿って準備を進める。	・場所は4年1組、2組、図書室のいずれかになることを伝え、必要なものを考えるよう助言する。					準備・練習中の様子(観察) 作成中の発表用資料
1	2年生を対象に地域の自慢を伝える。	・児童自身が、まとめ方や伝え方の長所・短所を実感できるよう、直前の助言はあえて行わない。 ・発表終了後、2年生に簡単なアンケートをとる。					2年生発表振り返りカード
1	自分たちの発表を振り返る。	・アンケートの集計結果を伝え、自己評価、総合評価をし、内容や方法を見直すようにする。					2年生発表振り返りカード
1	4宮小フェスタで1年生に発表する。(6時間) まとめ方、伝え方の課題を明確にする。	・何をどうするのか、できるだけ具体的に出すようにする					振り返りカード3
3	修正を加え、最終的な準備をする。	・練習しながら、気付いたところはどんどん修正するように助言する。					練習の様子(観察)
1	1年生を招き、それぞれの地区の自慢を伝える。	・正確に言ったり、読みだりするよりも、1年生に分かってもらうことの方が大切であることを確認する。					発表の様子(VTR)

1	<p>今までの学習を振り返る。</p>	<p>・2学期の夢人里の時間の学習で特に印象に残っていることを、だれかへの手紙という形で表すようにする。 ・何を書けばよいのか分からない児童のために、がんばったこと、がんばれなかったことなど具体的な内容や教師、保護者、地域の人など誰にあてて書くかということを示す。</p>				<p>2学期の夢人里振り返りカード</p>
---	---------------------	---	--	--	--	-----------------------

6 評価基準（ルーブリック）

学習活動	評価規準	学習活動における具体的な評価規準	評価資料	評価基準		
				A(3)	B(2)	C(1)
<p>1 自分の地区の自慢を見直す（3時間） 1学期や夏休み中に調べた自分の地域の自慢を発表しよう。</p>	<p>技能表現</p>	<p>聞き手が分かるように伝えることができる。</p>	<p>発表評価カード</p>	<p>よく分かったという評価が80%以上。</p>	<p>よく分かったという評価が60～80%。</p>	<p>よく分かったという評価が60%未満。</p>
<p>調べたことが、本当に自慢できることなのか、見直してみる。</p>	<p>思考判断</p>	<p>自慢したい理由をはっきりと書くことができる。</p>	<p>振り返りカード「振り返ろう1」</p>	<p>自慢できる理由が複数書かれている。</p>	<p>自慢できる理由が1つ書かれている。</p>	<p>自慢できる理由が不明瞭あるいは書けない。</p>
<p>もの・こと・人について、自慢するものかどうかが判断する。</p>	<p>思考判断</p>	<p>本当に自慢できるかどうか適切に判断することができる。（グループ）</p>	<p>「振り返ろう2」（地区別大判）</p>	<p>自慢として残すか、自慢からは外すか、すべて適切に判断できる。</p>	<p>自慢として残すか、自慢からは外すか、半分以上適切に判断できる。</p>	<p>自慢として残すか、自慢からは外すか、適切に判断できたものが半分に満たない。</p>
<p>2 自分たちの地域の自慢の再調査、精選を行う。（14時間）</p>						

足りないもので、再調査を詳しくする。	思考判断	対象や方法を明確にして再調査の計画を立てることができる。	校外調べ活動計画書	活動の内容（対象・方法など）が時分まで詳しく書いてある。	活動の内容（対象・方法など）が具体的に書いてある。	活動の対象あるいは方法があいまい。
地域に出て調べ直す。（6時間）	関心欲態度	友達と協力して再調査を進めようとする。	再調査振り返り	自分自身と班員全員が共に「協力できた」と評価している。	グループの友達の過半数が「協力できた」と評価している。	グループの友達の「協力できた」という評価が50%以下。
再調査したものを発表する。地域の特徴を決める。	思考判断	地域の特徴をよく表しているものを選ぶことができる。（グループ）	自慢カード1	すべて地域の特徴をよく表しているものを選んでいく。	地域の特徴を表しているものを過半数選んでいる。	地域の特徴を表しているものが半数に満たない。
再調査・精選したものを5年生に発表する。（5時間）	技能表現	5年生に分かりやすく地域の特徴を伝えることができる。	5年生発表振り返りカード（5年生用）	「分かった」という5年生の評価が80%以上。	「分かった」という5年生の評価が60%以上。	「分かった」という5年生の評価が60%未満。
5年生への発表を地域最終決定する。	知識理解	自分の生活と関連づけて自分の地区の特徴がわかる。	本発表計画書	自慢すべてが地域の特徴的なものを選んでいく。	自慢の過半数は地域の特徴的なものを選んでいく。	地域の特徴的なものが、過半数に満たない。
3 地域の特徴を伝える準備をする。（10時間） 決定した自慢を伝えるにはどうするか話し合う。	思考判断	1, 2年生に分かりやすいまとめ方、伝え方を考えることができる。	本発表計画書	1, 2年生の興味・関心と理解力を考慮している。	1, 2年生の興味・関心または理解力を考慮している。	1, 2年生に対する配慮が不足している。
話し合った内容を伝えて準備を進める。（5時間）	技能表現	1, 2年生に分かりやすく、絵や図を利用してまとめることができる。	作成中の発表用資料	選んだ自慢すべてに1, 2年生に地域の特徴が	選んだ自慢のうち過半数について1, 2年生	選んだ自慢について1, 2年生に地域の特徴が

				伝わるような工夫をしている。	に地域のよさが伝わるような工夫をしている。	伝わるような工夫をしているものが半数に満たない。
	関心欲 態度	自分の住む地区のよいところを自分の言葉で伝えようとする。	練習の様子 (VTR)	自分の言葉で分かりやすく伝えようとする。	自分の言葉で伝えようとする。	まとめたものや原稿を読んでいる。
2年生を対象に地域の自慢を伝える。	技能表現	1, 2年生に分かりやすいように伝え方を工夫している。	発表の様子 (VTR)	プレゼンテーションの仕方を工夫して伝えている。	聞き手の様子を見て伝えている。	聞き手のことを忘れて伝えている。
	技能表現	2年生に分かりやすく伝えることができる。	2年生発表 振り返りカード(2年生用)	よく分かったという評価が80%以上。	よく分かったという評価が60~80%。	よく分かったという評価が60%未満。
自分たちの発表を振り返る。	思考判断	2年生に分かりやすいまとめ方、伝え方ができたか振り返ることができる。	2年生発表 振り返りカード(4年生用)	2年生に地域のよさが伝わったかどうか発表の内容と方法両面から振り返っている。	2年生に地域のよさが伝わったかどうか発表の内容または方法について振り返っている。	単に発表の善し悪し(あ)しだけを振り返っている。
4宮小フェスタで1年生に地域の自慢をする(5時間)自分たちのまとめ方、課題を明確にする。	思考判断	1, 2年生に分かりやすいまとめ方、伝え方を考えることができる。 (グループ)	宮小フェスタの準備・練習の様子	まとめ方、伝え方両方の課題を明確にしている。	まとめ方または伝え方の課題を明確にしている。	課題が明確になっていない。
修正を加え、最終的な準備をする。(2時間)	関心欲 態度	友達と協力して発表の準備を進めようとする。	振り返りカード「ここまでの自分」2	班全体のことを考えて仕事を分担し準備を進	友達と協力し合って準備を進めている。	自分の分担以外に注意が向かない。

